



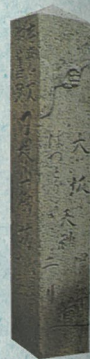
古道を訪ねて ⑬

箕面街道・西小路地区

巡礼道との交差点から、南へ進み、商店街を通り抜けて、平尾地区（現在の箕面）から、西小路地区へ入っていきます。西小路地区では、箕面街道が真っ直ぐに旧の集落の中央を通っています。



「西小路」の地名の由来が、この道によるものとも考えられますが、「西小路」があるなら、「東小路」はないのか



といった疑問が出てきます。そこで考えられるのが「西国街道」です。昔の絵図に、西国街道を「大路」と描いたものがあります。西小路地区からみて、東にある西国街道を「東の大路」、それに対して、西にある箕面街道を「西の小路」と呼び、そこから「西小路」の地名が誕生したのではないのでしょうか。

街道を南に進んで行き、集落内を東西に横切る小道を左（東）に、約50m入ると、「光明寺」があります。永禄3（1560）年に創設されたと伝えられる光明寺は、明治7（1874）年には、西小路学校（現箕面小学校の前身）にあてられたという歴史があります。境内には、目を見張るばかりのイチヨウの大きな木がありますが、樹齢300年以上と推

測されているこの木は、成長の途中で幹の先が折れてしまったため（落雷と考えられる）折れた部分がひとときわ太くなった珍しい形をしています。



▶ 光明寺のイチヨウ

「大阪府の木」でもあるイチヨウは、府内に多くの巨木がありますが、このような形のものには数少なく貴重であることから、平成12年、市内で最初の府指定の天然記念物になりました。

